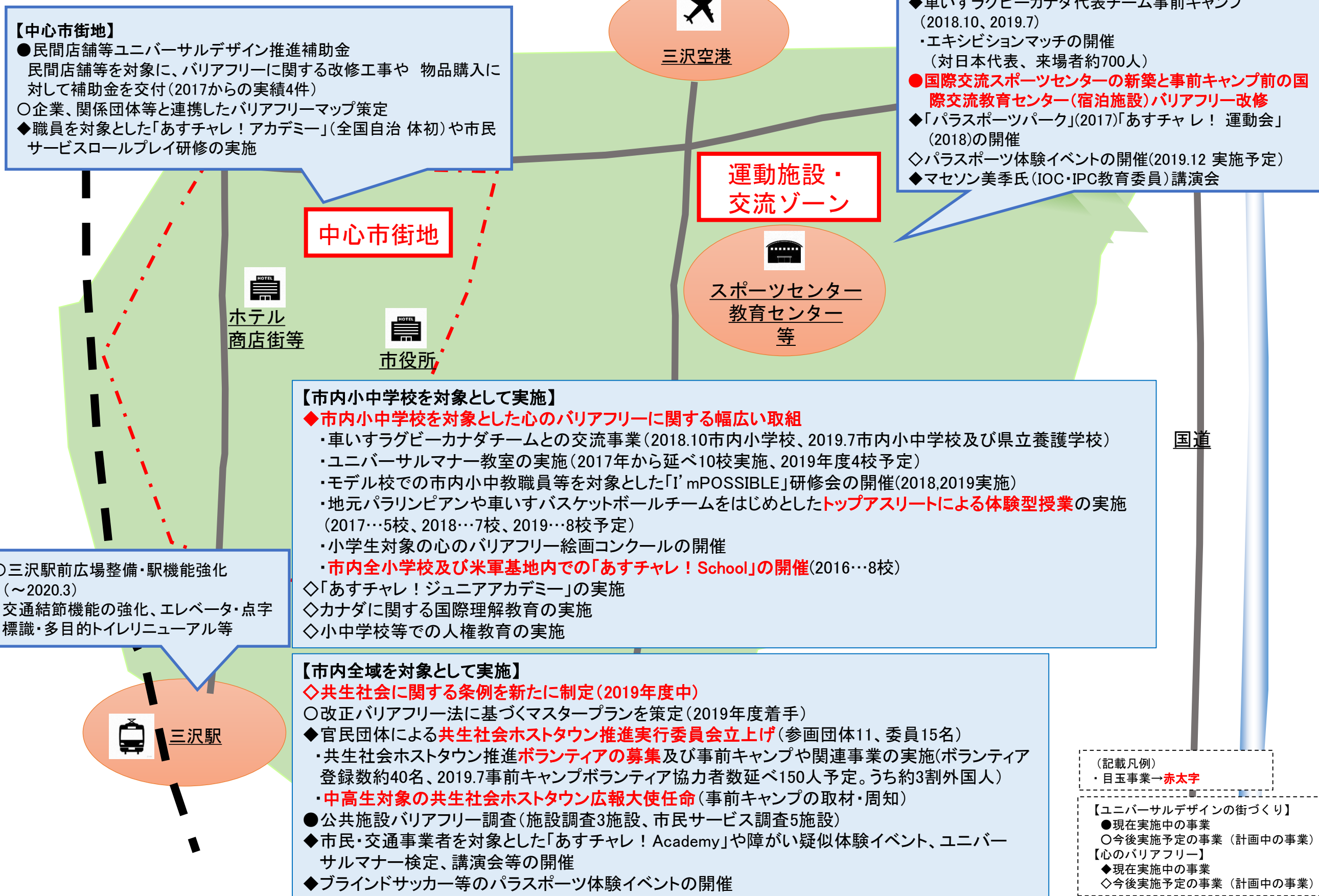


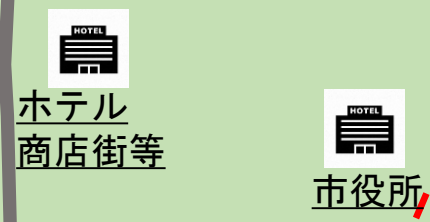
三沢市先導的共生社会ホストタウン関連事業



【中心市街地】

- 民間店舗等ユニバーサルデザイン推進補助金
民間店舗等を対象に、バリアフリーに関する改修工事や 物品購入に対して補助金を交付(2017からの実績4件)
- 企業、関係団体等と連携したバリアフリーマップ策定
- ◆職員を対象とした「あすチャレ！アカデミー」(全国自治体初)や市民サービスロールプレイ研修の実施

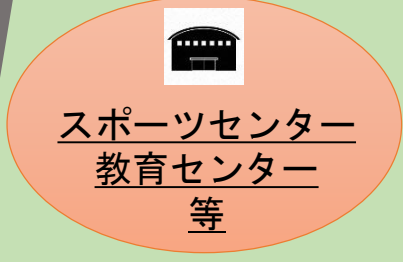
中心市街地



【運動施設・交流ゾーン】

- ◆車いすラグビーカナダ代表チーム事前キャンプ(2018.10、2019.7)
・エキシビションマッチの開催(対日本代表、来場者約700人)
- 国際交流スポーツセンターの新築と事前キャンプ前の国際交流教育センター(宿泊施設)バリアフリー改修
- ◆「パラスポーツパーク」(2017)「あすチャレ！ 運動会」(2018)の開催
- ◇パラスポーツ体験イベントの開催(2019.12 実施予定)
- ◆マセソン美季氏(IOC・IPC教育委員)講演会

運動施設・交流ゾーン



【市内小中学校を対象として実施】

- ◆市内小中学校を対象とした心のバリアフリーに関する幅広い取組
 - ・車いすラグビーカナダチームとの交流事業(2018.10市内小学校、2019.7市内小中学校及び県立養護学校)
 - ・ユニバーサルマナー教室の実施(2017年から延べ10校実施、2019年度4校予定)
 - ・モデル校での市内小中教職員等を対象とした「I'm POSSIBLE」研修会の開催(2018,2019実施)
 - ・地元パラリンピアンや車いすバスケットボールチームをはじめとした**トップアスリートによる体験型授業の実施**(2017…5校、2018…7校、2019…8校予定)
 - ・小学生対象の心のバリアフリー絵画コンクールの開催
 - ・市内全小学校及び米軍基地内での「あすチャレ！ School」の開催(2016…8校)
- ◇「あすチャレ！ジュニアアカデミー」の実施
- ◇カナダに関する国際理解教育の実施
- ◇小中学校等での人権教育の実施

○三沢駅前広場整備・駅機能強化(～2020.3)
交通結節機能の強化、エレベータ・点字標識・多目的トイレリニューアル等

【市内全域を対象として実施】

- ◇共生社会に関する条例を新たに制定(2019年度中)
- 改正バリアフリー法に基づくマスタープランを策定(2019年度着手)
- ◆官民団体による**共生社会ホストタウン推進実行委員会立上げ**(参画団体11、委員15名)
 - ・共生社会ホストタウン推進**ボランティアの募集**及び事前キャンプや関連事業の実施(ボランティア登録数約40名、2019.7事前キャンプボランティア協力者数延べ150人予定。うち約3割外国人)
 - ・**中高生対象の共生社会ホストタウン広報大使任命**(事前キャンプの取材・周知)
- 公共施設バリアフリー調査(施設調査3施設、市民サービス調査5施設)
- ◆市民・交通事業者を対象とした「あすチャレ！ Academy」や障がい疑似体験イベント、ユニバーサルマナー検定、講演会等の開催
- ◆ブラインドサッカー等のパラスポーツ体験イベントの開催

(記載凡例)

- ・目玉事業→赤太字

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業(計画中の事業)

【心のバリアフリー】

- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

遠野市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市全域を対象として実施】

- 改正バリアフリー法に基づくマスタープランの策定（2019年度予定）
- 共生社会推進のための協議会を設置
- ◆経済界協議会と連携した心のバリアフリー研修とパラスポーツ体験の開催
- ◆小中学校でパラスポーツ体験型授業（あすチャレ！School）
- ◆ブラインドサッカー教室等パラアスリートと交流（教室、イベント）
- ◆事業者をはじめ、市民を対象とした障がい者理解研修の開催

【小中学生における取組】

- ◆中学生・高校生がポスター・ラジオ番組・映像制作し、ホストタウン活動を通じた心のバリアフリーへの理解促進
- ◆高校生が小学生・中学生に障害者理解教室やパラスポーツ体験など「心のバリアフリー」を広める活動を実施
- ◆小中学校での障がい者講師による授業（あすチャレ！School、あすチャレ！Academy）の開催
- ◆小中学生を対象とした人権教室における「心のバリアフリー」への取組



【スポーツ・福祉施設】

- パラリンピック競技5人制サッカーブラジル代表チーム合宿受入に伴う施設のバリアフリー化（多目的トイレの設置）
- ◆パラリンピック競技5人制サッカーブラジル代表チーム合宿受入・交流や東北のブラインドサッカー選手との交流、パラスポーツ体験（教室、イベント開催）の開催

【中心市街地】

- 遠野駅のエレベーター設置等バリアフリー化
- ホテル・旅館等のバリアフリー化推進（客室改修、接客向上、外国語対応等）のため民間事業者向けに研修やアドバイス事業を展開
- 障がい当事者、小学生、企業の連携によるバリアフリー体験を踏まえたバリアフリー実態調査及びマップを作成し、マスタープラン策定と連携

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業（計画中の事業）

【心のバリアフリー】

- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業（計画中の事業）

（記載凡例）

・目玉事業 → 赤太字

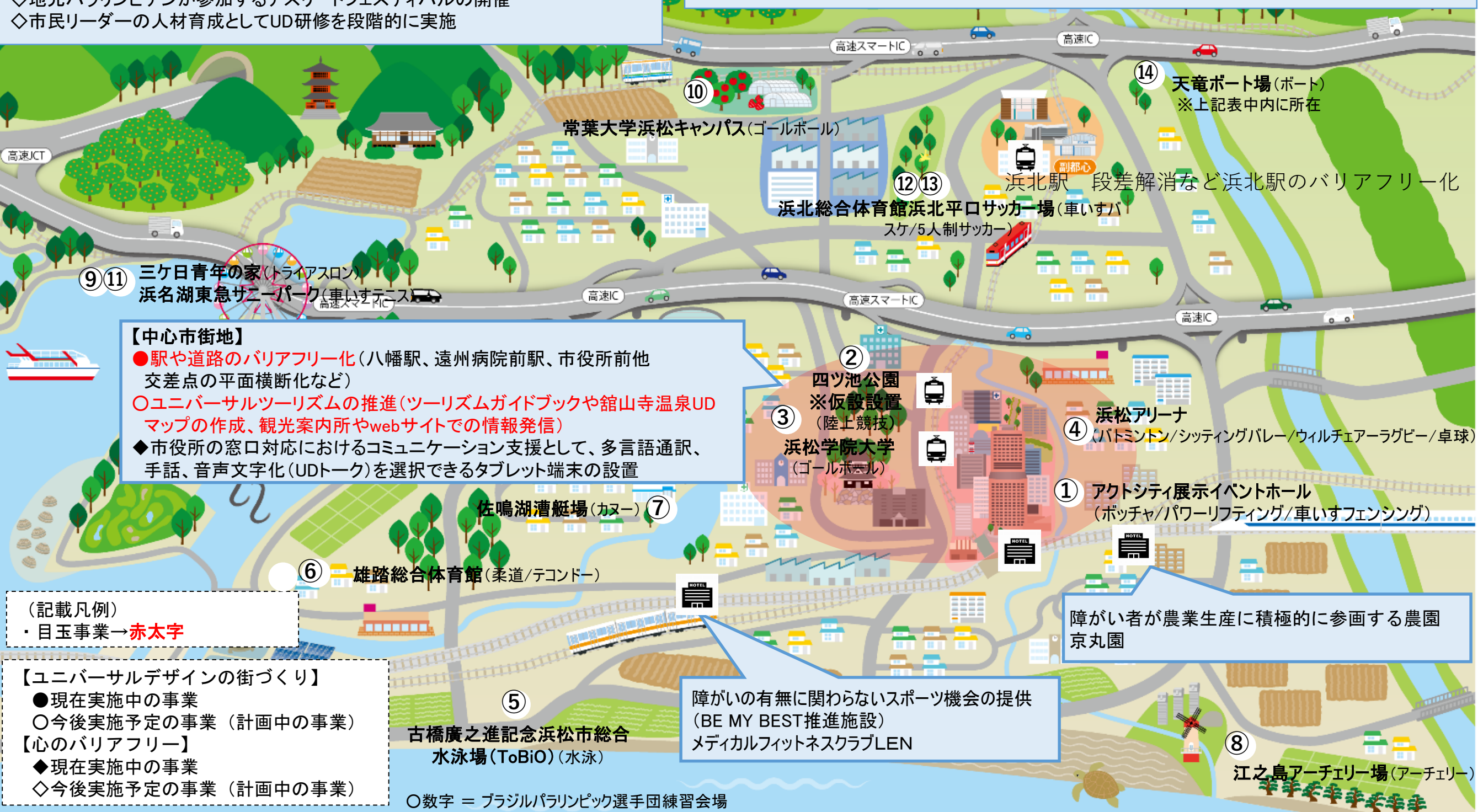
浜松市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市域を対象として実施】

- 複数の競技施設等の仮設も含めたバリアフリー化の推進
- ホテルのUD化の推進
- ◆我が国で初めてUD条例を制定
- ◆小中学生へのUD学習支援(市職員の出前講座等)
- ◆特別支援学校や友愛のさとの子どもたちとパラリンピアンとのふれあい場づくり
- ◆練習サポートボランティア(TorcidaBRASIL)の募集と研修会の開催
- ◆オリパラムーブメントにおける教育推進校によるオリパラ教育
- 改正バリアフリー法に基づく基本構想を策定又は改定予定(2021年度)
- ◇地元パラリンピアンが参加するアスリートフェスティバルの開催
- ◇市民リーダーの人材育成としてUD研修を段階的に実施

【ブラジル合宿受け入れ】各会場は図中①～⑭の位置

- ◇東京2020パラリンピック競技大会の**事前合宿市内14か所での19競技約400名のパラ選手団の受け入れ**
- ◇1,000名以上の練習サポートボランティア(Torcida BRASIL)と心のバリアフリー研修会の開催
- ◆大学や経済界、福祉関係団体等市内68団体が参画する「東京2020ブラジルホストタウン推進浜松市民会議」の設立。パラアスリート講演等を実施(過去2回)
- ◆車いすマラソンの受け入れ(2018年11月)
- ◇パラ柔道、パラトライアスロンの交流合宿の開催と市民との交流を実施
- ◆ブラジル柔道選手団を2017年から受け入れ、地元高校生などと合同練習会を実施



【中心市街地】

- 駅や道路のバリアフリー化**(八幡駅、遠州病院前駅、市役所前他交差点の平面横断化など)
- ユニバーサルツーリズムの推進**(ツーリズムガイドブックや館山寺温泉UDマップの作成、観光案内所やwebサイトでの情報発信)
- ◆市役所の窓口対応におけるコミュニケーション支援として、多言語通訳、手話、音声文字化(UDトーク)を選択できるタブレット端末の設置

(記載凡例)
・目玉事業→赤太字

- 【ユニバーサルデザインの街づくり】
- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業(計画中の事業)
- 【心のバリアフリー】
- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

○数字 = ブラジルパラリンピック選手団練習会場

障がい者が農業生産に積極的に参画する農園
京丸園

障がいの有無に関わらないスポーツ機会の提供
(BE MY BEST推進施設)
メディカルフィットネスクラブLEN

⑨⑪ 三ヶ日青年の家(トライアスロン)
浜名湖東急サニーパーク(車いすテニス)

⑩ 常葉大学浜松キャンパス(ゴルフボール)

⑫⑬ 浜北総合体育館浜北平口サッカー場(車いすバスケ/5人制サッカー)

⑭ 天竜ポート場(ポート)
※上記表中内に所在

副都心
段差解消など浜北駅のバリアフリー化

② 四ツ池公園
※仮設設置(陸上競技)

③ 浜松学院大学
(ゴルフボール)

④ 浜松アリーナ
(バドミントン/シットイングバレー/ウィルチェアラグビー/卓球)

① アクトシティ展示イベントホール
(ポッチャ/パワーリフティング/車いすフェンシング)

⑥ 雄踏総合体育館(柔道/テコンドー)

⑦ 佐鳴湖漕艇場(カヌー)

⑤ 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)(水泳)

⑧ 江之島アーチェリー場(アーチェリー)

明石市先導的共生社会ホストタウン関連事業

● 移動等円滑化促進地区指定を検討中の地区

■ 「I'm POSSIBLE」の実施予定校

【市全域を対象として実施】

- 市内全駅において内方線付き点字ブロックを設置
- 改正バリアフリー法に基づくマスタープランを策定(2019年度予定)(移動等円滑化促進地区として11地区指定を検討中)
- 中心市街地や交通結節点を中心とした地区のホテル・旅館等の客室のバリアフリー改修を促進
- 合理的配慮の提供を支援する公的助成制度(点字メニュー・筆談ボード導入等)による飲食店・宿泊施設等の環境整備(2018年度:88件/2019年度:27件(7月末時点))
- UDタクシー導入促進のための助成金交付
- ◆ パラスポーツ等の体験交流を中心とした市民参加型の交流イベントを実施(2018年度:8月25日/2019年度:8月25日)
- ◆ 事業者や交通事業者等を対象とした障害理解研修を実施(2018年度:3件/2019年度:1件(予定))
- ◆ 市内小学校での手話体験教室の実施(2018年度:19件/2019年度:22件(予定))
- ◆ 市内小学校や高齢者大学でのバリアフリー教室の実施(2018年度:1件/2019年度:4件(予定))
- ◆ 「I'm POSSIBLE」の活用(2019年度:市内の全小中学校・全特別支援学校・明石商業高等学校で実施(予定))



(2018年度 バリアフリー教室)



(2018年度 市民交流イベント)

【JR・山陽明石駅周辺地区】

- 聴覚障害者向け電話リレーサービスを利用した手話フォンを設置
- 駅周辺のバリアフリーマップを障害当事者、パラスポーツ選手等の参画のもと2018年度に作成、2019年度に改訂
- ユニバーサルツーリズム情報などを提供する観光案内所、ユニバーサルデザインの公共トイレ、子育てサポート室等を備えた((仮称)ユニバーサルツーリズムセンター)を整備
- 国道2号線の交差点改良・市道の点字ブロックの整備
- ユニバーサルな歯科診療所を整備

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
 - 今後実施予定の事業(計画中の事業)
- 【心のバリアフリー】
- ◆ 現在実施中の事業
 - ◇ 今後実施予定の事業(計画中の事業)

(記載凡例)
・目玉事業 → 赤太字



(ホームドア整備(イメージ))

①~⑤

【各地域の主なハード整備】

- パラリンピアンや障害当事者等と共にバリアフリー点検(まちあるき)を実施(2018年度:①/2019年度:②/2019年度以降:③④⑤(予定))
- バリアフリー法に基づく基本構想を改訂(①②③:2019年度中、④⑤:2020年度以降)
- ホームドアの整備(①③)
- 駅のバリアフリー化(②④)

②

【山陽電鉄林崎松江海岸駅周辺地区】

- パラスポーツ体験や、車椅子介助などの福祉体験等を行うことができる共生社会づくりの発信拠点としての施設を整備(総合福祉センター新館)



(公的助成制度を活用したスロープの設置)

(仮称)ユニバーサルツーリズムセンター

宇部市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市全域を対象として実施】

- 改正バリアフリー法に基づくマスタープランを策定(2019年度予定)
- ◆全児童生徒に「I'mPOSSIBLE」の授業を実施(小中学校36校、11,700人実施予定)、人権参観日やコミュニティスクール等を活用し地域に拡大授業を実施
- ◆手話や同行援護などの専門的支援者の養成講座受講料や資格取得受験料の助成
- ◇人権ハートウォーミングデーで「共生社会ホストタウンと人権」をテーマに人権作文の表彰、人権に関する講演等を開催(2019年11月予定)
- ◇発達障害の親の会、認知症カフェ、子育てサロン、外国人等と地域住民による心のバリアフリーミニワークショップの開催

【交通結節点】

- 宇部駅にエレベーター付きこ線橋を設置(2019年度完成予定)
- ノンステップバスの購入
- 公共交通事業者や観光タクシードライバーにバリアフリー研修を実施しユニバーサルツーリズムを推進

【競技場・公園】

- 視覚障害に対応した野外彫刻観賞用音声ガイドの作成。障害に応じたバリアフリー観光モデルコース(ときわ公園)の情報アプリによる提供、多言語バリアフリーマップをUDタクシー利用者に配布
- ときわ公園の園内周遊路のバリアフリー化や施設のトイレ洋式化
- ◆ときわ公園で1962年から障害者職業訓練を開始し、2013年度からは就労継続支援A型事業所に転換
- ◇ホストタウン相手国のパラリンピック関係者などを招致し、地元ボッチャ選手、小学校や総合支援学校の児童が参加するボッチャ交流大会を開催(2019年11月予定)
- ◇民間企業や公共団体を対象に「あすチャレ！運動会/パラスポーツ体験会」を開催

交通結節点



宇部駅

中心市街地

市役所

競技場・公園

俵田翁記念体育館

ときわ公園



【中心市街地】

- 多言語対応と障害に応じたバリアフリー観光モデルコース(中心市街地)を情報アプリで提供し、バリアフリーマップをUDタクシー利用者に配布
- 店舗(美容院・書店)やホテル等への民間施設のバリアフリー化改修費や事業者、市民活動団体への点字メニュー作成等のコミュニケーション支援費用を助成
- 市役所新庁舎のユニバーサルデザイン化(2021年竣工)
- ◆市職員を対象としたユニバーサルマナー研修(2019年度に全職員受講完了)
- ◆生涯学習講座「宇部志立市民大学 共生社会学部」でコミュニケーション支援人材の育成(延べ受講者390人)
- ◇宿泊施設のバリアフリー化促進

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業(計画中の事業)

【心のバリアフリー】

- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

(記載凡例)

・目玉事業 →赤太字

田川市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市全域を対象として実施】

●公共施設や飲食店等の民間施設のバリアフリー情報を、障害当事者も所属するボランティア団体と連携し、県全域を対象とした「ふくおかバリアフリーマップ」に掲載(田川後藤寺駅及び田川伊田駅を中心に100店舗の情報掲載を目標)

- バリアフリー法に基づくマスタープランを策定(2020年度策定予定)
- ◆経済会協議会の心のバリアフリー研修を市職員、市民に実施、本年度は中学生に拡大実施
- ◆小学校3校でポッチャ体験と人権教室を開催
- ◆全小学4年生を対象にブラインドサッカー研修会実施
- ◇小学校1校で公共施設や周辺の店舗の調査点検を行いバリアフリーマップづくりを体験

【中心市街地】

- 駅前広場にバス専用の駐車スペースを設置
- 駅前広場を無電柱化し障害者等が歩きやすい歩行空間の整備
- 主要な市道及び田川伊田駅前広場に視覚障害者誘導ブロックの設置

【中心市街地】

- 県内パラアスリート等の障害当事者がまち歩きし、課題解決のための心のバリアフリー推進のアクションプランを策定

中心市街地



体育施設ゾーン

市民プール

総合体育館



【体育施設ゾーン】

- 総合体育館のトイレ、シャワー、観覧スペース、自動ドアのバリアフリー化(2018年度完了)
- 企業版ふるさと納税を活用し、トレーラーハウスを活用した車いす対応型合宿所を15棟整備(2020年3月完成)
- ◇ドイツ及びペラルーシ車いすフェンシングチーム合同キャンプで、小学生がビデオレターや歓迎ポスターを作成し、子どもたちが参加しおもてなし交流を実施(2019年9月)
- ◇「東京2020大会1年前イベントin田川」で地元パラアスリート講演、パラスポーツ体験、NTTと連携し障害の有無に関わらず楽しめるVRフェンシング体験を開催
- ◇障がいのある方のみ市民プールを1日開放する「バリアフリーデー」を開催し、福祉事業所、県立大学等が運営ボランティアを実施

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業(計画中の事業)

【心のバリアフリー】

- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

(記載凡例)

・目玉事業 →赤太字

266.2m

大分市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市全域を対象として実施】

- バリアフリー法に基づく基本構想を改定（2019年12月予定）
- 多目的トイレの配置状況等を調査し、市内の観光マップの外国語版に表示（2018年5月作成）
- ◆スイス人選手による学校訪問交流事業を開催予定（2018年11月開催、2019年11月開催予定）
- ◆大分国際車いすマラソンにおける外国人選手に対する接遇をまとめた資料を作成（2018年3月作成）

車いすマラソンゴール地点
(大分市宮陸上競技場)

車いすマラソンコース

大分市役所

車いすマラソン
スタート地点

大分県庁

【中心市街地におけるユニバーサルデザインの街づくり】

- ユニバーサルデザインの推進を目的とした店舗等改修工事等の経費補助を実施（2018年度7件、2019年度16件予定）
- 大分国際車いすマラソンに出場する選手が多く宿泊する中心市街地において、**障害当事者や地元パラアスリートが参加したまちなか点検を行い、バリアフリーマップを作成。車いすマラソン大会前に配布予定**（2019年11月予定）
- 多目的トイレ等の調査を行い、バリアフリーマップのアップデートを実施予定（2020年1月～）
- （図⑥）国道197号線の歩道の拡幅、段差解消等を行う「リボン197」を実施中
- 大分国際車いすマラソン関係者を対象にユニバーサルデザインに関する研修を開催予定（2019年11月予定）

【スイスとの交流】

- ◆（図②）交流相手国でパラスポーツ先進国であるスイス連邦を紹介するスイスフェアを開催（2018年11月開催、2019年11月開催予定）
- ◇（図④）中心市街地で開催する様々なイベントにおいて、共生社会ホストタウンについて紹介する予定

バリアフリーマップ
作成エリア
(中心市街地)

大分駅

【中心市街地における心のバリアフリー】

- ◆（図①）「障がい者等衣服相談アドバイザー事業」を開催（2018年5月～2019年3月）湯にはば～さるファッションinべっぴで披露（2018年11月）2019バリアフリー・ファッションショーinおおいたで作品披露（2019年5月）
- ◇（図①）**障がい者の「着る」ことなんでも相談&ファッション講座を開催**（2019年5月～2020年3月予定）
- ◆（図③）「輪い笑いフェスタ！大分市福祉のつどい」を開催（2018年10月、2019年11月予定）
- ◆（図⑤）障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツと文化祭典の「スポーツ・オブ・ハート2018in大分」を東京以外では唯一開催（2018年9月開催）

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業（計画中の事業）

【心のバリアフリー】

- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業（計画中の事業）

(記載凡例)
・目玉事業 → 赤太字